

“海外農業留学”してみませんか？

コロナ禍やウクライナ戦争で日本の食料自給力の強化が課題になり、また田園回帰の動きも広がる中で、いま農業は若者にとってやりがいのある仕事と注目されています。

しかし、グローバル化の状況（輸入農産物の増加、海外での日本食の広がりなど）を考えると、これから農業や関連産業を担う人材には、海外での経験など国際感覚が必須になっています。

公益社団法人国際農業者交流協会の海外農業研修は、若人にしかできない貴重な経験であり、非農家出身の方でも安心して参加できる素晴らしい研修です。

国からの助成金も充実しています。ぜひ活用して欧米等での農業留学にチャレンジしてみませんか。



海外農業研修プログラムの特徴

1. 農場実習と座学の充実した研修！

アメリカコースは、大学での基礎学習（語学、米国農業事情）と約1年間の農場実習、さらに大学での専門学習（経営、流通）を組み合わせた充実したプログラムです。

他のコースでも、農場実習だけでなく、到着時の語学学習プログラムやセミナーなどを組み合わせた学び豊かな研修です。

帰国前に研修旅行も計画されています。

2. 国の助成金（返済不要）あり！

農林水産省の農業教育高度化事業では、「将来的に農業に従事する意思があると宣言する」研修生に助成金（最大60万円）が支給され、費用負担が大幅に軽減されます。また、実習する農場では研修手当が支給されるので、上手にやりくりすればいくらか手元に残すこともでき、金銭的な心配をせずに参加できます。

3. 手厚いサポートと全国に15,000人のOBOG！

70年の歴史と実績のあるプログラムであり、全国で15,000名の研修修了者が活躍しています。海外研修中も協会や現地パートナー機関のスタッフの手厚いサポートが受けられるので、初めての海外でも安心して参加できます。

選べるコース

コース	研修期間	渡航の予定時期
アメリカ	1年半	2023年6月下旬
オーストラリア	1年	2023年3月下旬
デンマーク	3～12か月	2023年3月中旬
ドイツ	3～12か月	2023年3月中旬
スイス	1年	2023年3月中旬
オランダ	3～12か月	2023年3月中旬
その他の国々	3～12か月	任意の期間

参加資格

概ね 19～29 歳で高校卒業程度の学力のある人（コースによって若干異なります。非農家出身者も大歓迎）

応募・選考・国内研修スケジュール

応募期間：2022年4月～9月末、選考の後、国内研修（語学・派遣国の農業事情など）

申し込み・問い合わせ先

公益社団法人国際農業者交流協会（JAEC）

☎ 03-5703-0252 <https://jaec.org/>



オランダの施設栽培農家でがんばる研修生たち